

其の六 直政、井伊家復興

## 浜松城

元亀元年(1570)、徳川家康公が29歳で築城。以来45歳までの17年間、この城を拠点に様々な困難を乗り越え天下取りの道を上っていった。家臣団筆頭の出世頭となった井伊直政公も常駐したといわれる。現在は在城当時の若き家康公を再現した3D像をはじめ、展示も充実させている。

浜松市中区元城町100-2 TEL 053-453-3872  
 開館時間/8:30~16:30 料金/大人(高校生以上)200円 ※中学生以下は無料 交通/JR浜松駅バスターミナル①③乗り場から遠鉄バスで約5分「市役所前」下車、徒歩約6分 無料駐車場あり



家康公の天下取りに加え、歴代城主の多くが出世したことから「出世城」と呼ばれる



野面積みの石垣。築城当時の姿を今に伝える貴重なもの



天守門は発掘調査結果や絵図に従って復元。明治時代以降に造られたものを撤去し新たに設置した石段や、柱を礎石の形に合わせて加工する「ひかりつけ」など、細部を見るのも醍醐味

# 未来を拓いた城

直虎公が領主の座を追われ、井伊家最後の希望となった虎松。先が見えぬ乱世の中で家康公に仕官。未来を拓いたのがこの場所だった。

### 虎松、家康公に仕官

永禄11年(1568) 11月、直虎公が阻止していた「徳政令」が今川氏真公により強制発布。直虎公は領主の座を追われる。このとき一人残った井伊家嫡男・虎松はわずか7歳。ここから井伊家の未来を懸けた静かな戦いが始まった。虎松は鳳来寺にかくまわれた後、母が松下源太郎と再婚したため養子として頭陀寺の松下屋敷で成長。天正3年(1575) 2月、ついに家康公に仕官する。15歳になっていた。

### 井伊家の未来を拓く

家康公は虎松の生い立ちを知り、万千代と名付け、井伊を名乗るこ

とを許した。断絶寸前の井伊家に光が見えた。ここから家康公は武田勝頼公との約10年に及ぶ死闘を展開する。万千代は着々と武功を重ね、天正10年(1582)の甲州攻めで4万石を拝領。祖父・直盛の2万5千石を大きく超えた。この年の11月、万千代は元服し直政を名乗る。直虎公が亡くなって3カ月後のことだった。

直虎  
新商品

#### 家康髪油(イエヤスカミュ) 1300円(税別)

男性向け整髪料。時が来るまで耐え忍び、好機を逃さなかった家康公になぞらえ開発。美容室専用品を改良し、躍動感あるスタイルを長時間キープできるファイバーインヘアワックス。

#### 直虎髪油(ナオトラカミュ) 1300円(税別)

女性向け整髪料。直政を育て上げ井伊家の危機を救い、お家をまとめ上げた直虎になぞらえて開発。美容室専用品を改良し、パサつく髪に潤いを与え、しっとりまとめる、ファイバーインヘアクリーム。



2月1日  
発売予定

[製造元] 有限会社 田中商店 浜松市中区南浅田1-16-1 TEL 053-441-5227  
 [取扱店] はんざいオン市野店、山本美容院(森町)、hair space Axy(菊川市)